



検査のとびら

作成 2023年4月 検査室



凝固・線溶検査

1. 凝固の検査

(凝固異常がないかをみる検査)

PT (プロトロン時間)

APTT (活性化部分トロンボプラスチン時間)

フィブリゲン量 など

• 凝固異常の原因は？

1. 凝固因子は主に肝臓で作られ、肝機能が低下すると凝固因子の産生も低下し働きが弱くなる。
2. 凝固因子に対する抗体がある場合、
3. 先天性に凝固因子が欠乏している場合、
4. ワーファリンを服用している場合にも凝固因子の働きが弱くなります。

2. 線溶の検査

(血栓の分解物があるかをみる検査)

Dダイマー

定量検査

FDP

• 線溶異常の原因は？

1. 血栓の存在、血栓症(DVT,PE)の示唆
2. DICの示唆
3. 感染症、敗血症の疑い など
4. その他

3. 採血の注意点

採血は3.2%クエン酸Na採血管を使用



Point!

採血量不足は厳禁！

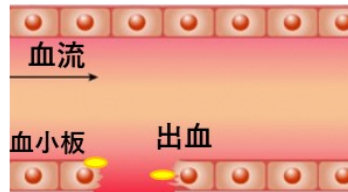
白線まで採血



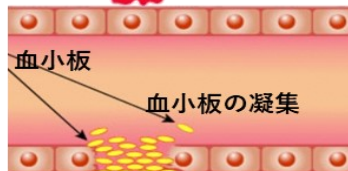
• 凝固のしくみ

凝固は、血管が損傷し血小板や凝固因子の働きにより止血、血栓が形成されます。

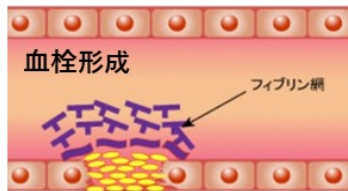
① 血管が損傷すると血小板が血管壁に粘着する



② 血小板が集まる(凝集)ことで一次止血となる



③ 凝固因子の働きでフィブリンが全体を覆い血栓を形成



• 線溶のしくみ

線溶は、プラスミンの働きで血栓を構成する安定化フィブリン等を分解・溶解する反応。

Dダイマー

(安定化fibrin分解物)

FDP

(fibrin/fibrinogen分解産物)



• 検査の基準値

項目名	単位	基準値	
PT			
PT(%)	%	70 ~ 130	
PT(sec)	Sec	9.8 ~ 12.1	
PT(INR)		0.9 ~ 1.1	
APTT			
APTT(sec)	Sec	26.9 ~ 38.1	
FIB	FIB	mg/dL	
			200 ~ 400
FDP	FDP	μg/dL	< 5.00
Dダイマー	Dダイマー	μg/dL	<= 1.00

令和5年4月1日から凝固・線溶検査は県病検体です

問い合わせ：検査室 佐藤まで